

“Human Infections with Highly Pathogenic Avian Influenza A(H5N1) Virus”

本講演では、高病原性鳥インフルエンザA(H5N1)について、疫学、臨床症状、診断・治療、そして公衆衛生上の対応策を解説します。さらに、ウイルス学的な視点から最新の知見を紹介し、新興感染症としての脅威に対する備えと対応について考察します。

Dr Timothy M. Uyeki

Chief Medical Officer for the Influenza Division, National Center for Immunization and Respiratory Diseases, CDC, USA

感染症疫学の第一人者として世界的に活躍する研究者。鳥インフルエンザA(H5N1)研究の先駆者の一人であり、その研究成果は国際的な主要学術誌に多数掲載されています。新興感染症に関する理解の深化と公衆衛生対策の推進に大きく貢献しています。



Oct. 1 (THU) **2026**
18:00-19:30

- ▶ 場 所 : 医学部・6号館1階 講堂
- ▶ 参加形式 : 会場&オンライン(Zoom)
- ▶ 言 語 : 英語
- ▶ お問い合わせ : tuprep-secretariat@grp.tohoku.ac.jp



**REGISTRATION
BY Oct. 1, Noon**